

44 1人1日当たりのごみ排出量

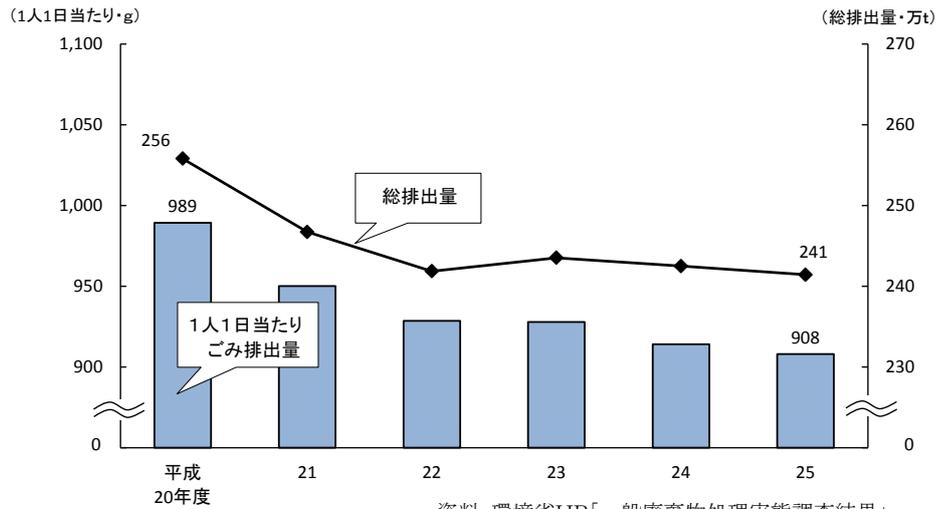
順位	市町村	排出量 (g/人日)
	全 県	908
1	熊谷市	1,170
2	本庄市	1,147
3	川島町	1,118
4	深谷市	1,077
5	三芳町	1,027
6	八潮市	1,006
7	三郷市	999
8	秩父市	982
9	行田市	967
10	春日部市	966
11	上里町	948
12	東松山市	946
13	羽生市	944
14	加須市	942
15	さいたま市	940
16	戸田市	931
17	毛呂山町	928
18	美里町	928
19	上尾市	926
20	皆野町	909
21	川口市	907
22	入間市	901
23	川越市	899
24	日越高谷市	896
25	越谷市	895
26	嵐山町	881
27	伊奈町	879
28	松伏町	872
29	所沢市	870
30	草加市	869
31	久喜市	867
32	狭山市	861
33	蕨市	861
34	吉川市	860
35	寄居町	859
36	宮代町	856
37	鶴ヶ島市	847
38	神川町	840
39	ふじみ野市	838
40	飯能市	837
41	幸手市	835
42	鳩山町	834
43	越生町	831
44	蓮田町	829
45	長瀬市	822
46	新座市	820
47	鴻巣市	819
48	杉戸町	817
49	志木市	815
50	白岡市	808
51	北本市	804
52	朝霞市	802
53	和光市	799
54	桶川市	797
55	坂戸市	794
56	小川町	789
57	滑川町	781
58	横瀬町	781
59	小鹿野町	767
60	ときがわ町	765
61	富士見市	762
62	吉見町	712
63	東秩父村	665

■1人1日当たりのごみ排出量は、減少傾向

環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」によると、平成25年度の1人1日当たりのごみ排出量は908gでした。

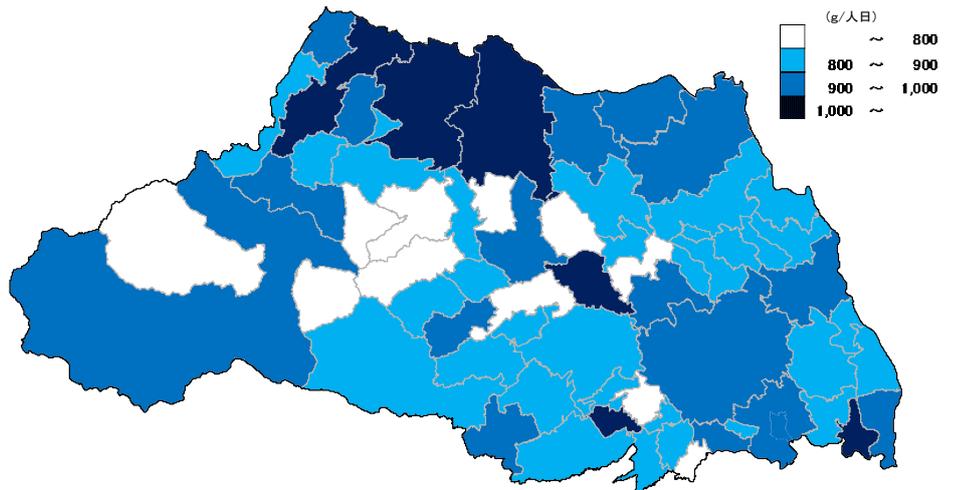
毎年の推移をみると、1人1日当たりのごみ排出量及び総排出量はおおむね減少傾向となっています。

ごみ排出量の推移(県全体)



資料:環境省HP「一般廃棄物処理実態調査結果」

1人1日当たりのごみ排出量の分布



●1人1日当たりごみ排出量とは
ごみ総排出量を人口及び年間日数で割った量。

平成25年度

資料:環境省HP「一般廃棄物処理実態調査結果」

45 温室効果ガス排出量

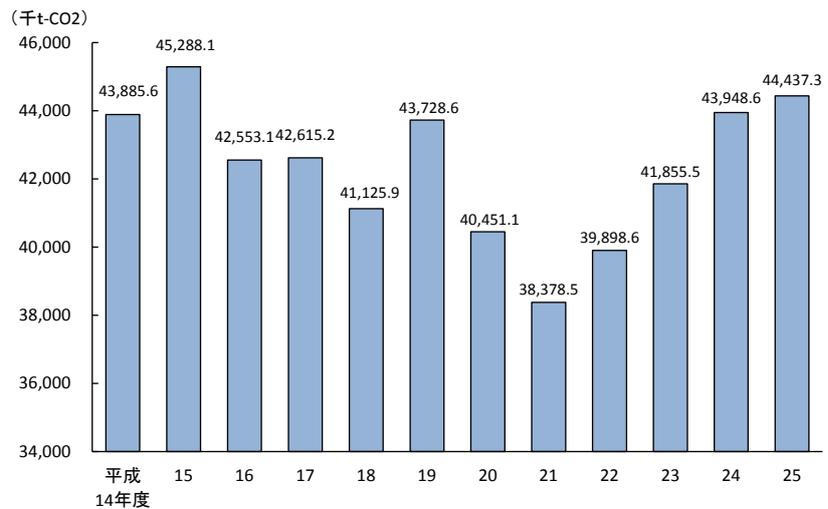
順位	市町村	排出量 (千t-CO2)
	全 県	44,437.3
1	さいたま市	5,953.8
2	熊谷市	2,862.3
3	川口市	2,818.9
4	川越市	2,006.4
5	越谷市	1,545.7
6	所沢市	1,453.7
7	草加市	1,364.5
8	日高市	1,309.0
9	深谷市	1,127.6
10	横瀬町	1,087.4
11	上尾市	1,080.7
12	久喜市	1,062.0
13	狭山市	1,059.7
14	春日部市	1,042.4
15	加須市	1,000.7
16	八潮市	991.6
17	入間市	934.6
18	戸田市	794.3
19	新座市	748.0
20	三郷市	738.5
21	本庄市	669.6
22	鴻巣市	661.2
23	秩父市	600.2
24	朝霞市	595.7
25	行田市	593.3
26	東松山市	576.8
27	桶川市	559.9
28	飯能市	527.2
29	ふじみ野市	487.9
30	坂戸市	473.5
31	羽生市	413.7
32	富士見市	407.8
33	蕨市	403.8
34	吉川市	366.2
35	鶴ヶ島市	364.9
36	三芳町	360.1
37	和光市	350.8
38	蓮田市	347.3
39	吉見町	336.1
40	幸手市	302.0
41	北本市	300.6
42	上里町	285.1
43	白岡市	256.9
44	志木市	254.4
45	寄居町	252.9
46	伊奈町	249.0
47	杉戸町	244.5
48	神川町	238.2
49	美里町	212.9
50	小川町	192.8
51	毛呂山町	176.7
52	嵐山町	175.1
53	滑川町	171.1
54	滑川町	168.6
55	松伏町	151.7
56	ときがわ町	136.8
57	宮代町	130.7
58	鳩山町	96.8
59	小鹿野町	88.6
60	皆野町	68.0
61	越生町	65.8
62	長瀨町	44.0
63	東秩父村	17.2

■ 埼玉県温室効果ガス排出量は、平成 22 年度から再び増加傾向

県温暖化対策課、県環境科学国際センター「埼玉縣市町村温室効果ガス排出量推計報告書」によると、平成 25 年度の県全体の温室効果ガス総排出量は、44,437.3千t-CO2(電力供給側含む)でした。

平成 15 年度をピークに、それ以降 21 年度まではおおむね減少傾向が続いていましたが、平成 22 年度以降は増加に転じています。

温室効果ガス総排出量の推移(県全体)

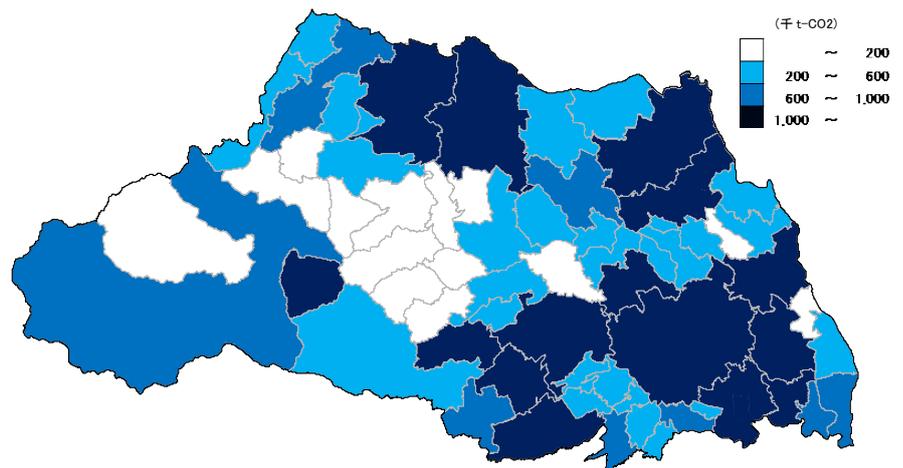


注) 温室効果ガス総排出量は電力供給側を含む。

資料: 県温暖化対策課、県環境科学国際センター

「埼玉縣市町村温室効果ガス排出量推計報告書 2013 年度」

温室効果ガス排出量の分布



● 温室効果ガス排出量とは

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に示された温室効果ガスである二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素の7種類を推計対象として算出したもの。

平成 25 年度 資料: 県温暖化対策課、県環境科学国際センター「埼玉縣市町村温室効果ガス排出量推計報告書 2013 年度」

注) 推計の元データが異なるため、全県の排出量と市町村別の排出量の合計は一致しません。

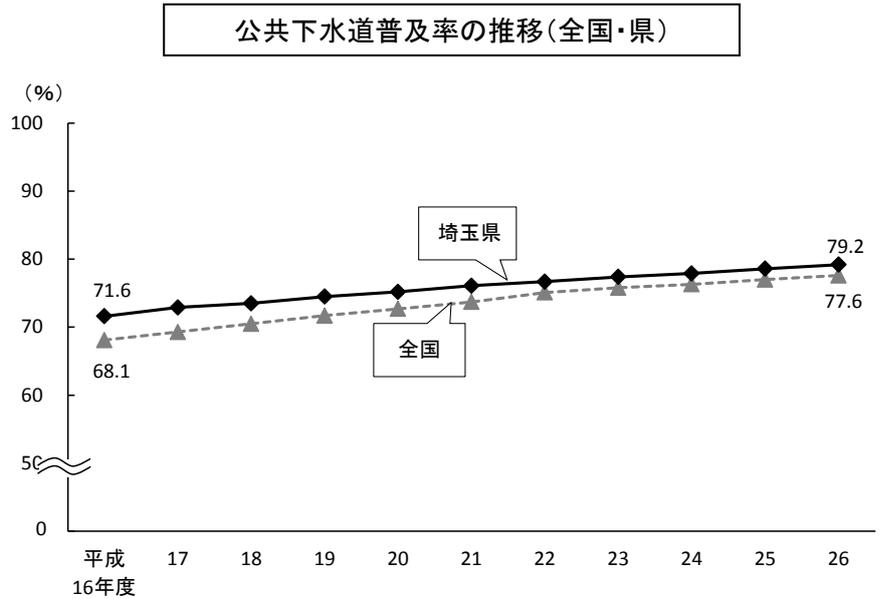
46 公共下水道普及率

順位	市町村	普及率(%)
	全 県	79.2
1	志 木 市	99.3
2	朝 霞 市	97.1
3	和 光 市	96.3
4	富 士 見 市	96.1
5	蕨 市	95.5
6	狭 山 市	95.4
7	新 座 市	94.9
8	三 芳 町	93.4
9	所 沢 市	93.0
10	草 加 市	92.0
11	ふじみ野市	91.6
12	さいたま市	91.5
13	入 間 市	88.2
14	戸 田 市	88.0
15	春 日 部 市	86.3
16	川 口 市	85.9
17	川 越 市	85.3
18	越 谷 市	82.8
19	吉 川 市	81.5
20	上 尾 市	79.1
21	鶴ヶ島市	78.6
22	桶 川 市	77.6
23	三 郷 市	76.7
24	鴻 巣 市	76.3
25	伊 奈 町	73.8
26	北 本 市	72.9
27	八 潮 市	72.5
28	蓮 田 市	72.4
29	宮 代 町	71.8
30	久 喜 市	69.0
31	松 伏 町	67.9
32	杉 戸 町	67.4
33	坂 戸 市	66.7
34	飯 能 市	66.4
35	毛 呂 山 町	65.6
36	嵐 山 町	65.4
37	白 岡 市	64.9
38	鳩 山 町	63.4
39	長 瀨 町	61.6
40	日 高 市	58.5
41	皆 野 町	58.0
42	深 谷 市	56.2
43	本 庄 市	54.8
44	行 田 市	54.6
45	越 生 町	51.9
46	秩 父 市	50.6
47	滑 川 町	50.3
48	川 島 町	49.9
49	加 須 市	47.7
50	小 川 市	47.5
51	東 松 山 市	45.3
52	幸 手 市	44.6
53	熊 谷 市	43.4
54	羽 生 市	36.4
55	横 瀨 町	35.3
56	吉 見 町	23.6
57	寄 居 町	22.5
58	上 里 町	15.0
59	神 川 町	12.8
60	美 里 町	6.3
61	ときがわ町	-
61	小 鹿 野 町	-
61	東 秩 父 村	-

■県内の公共下水道普及率は、79.2%

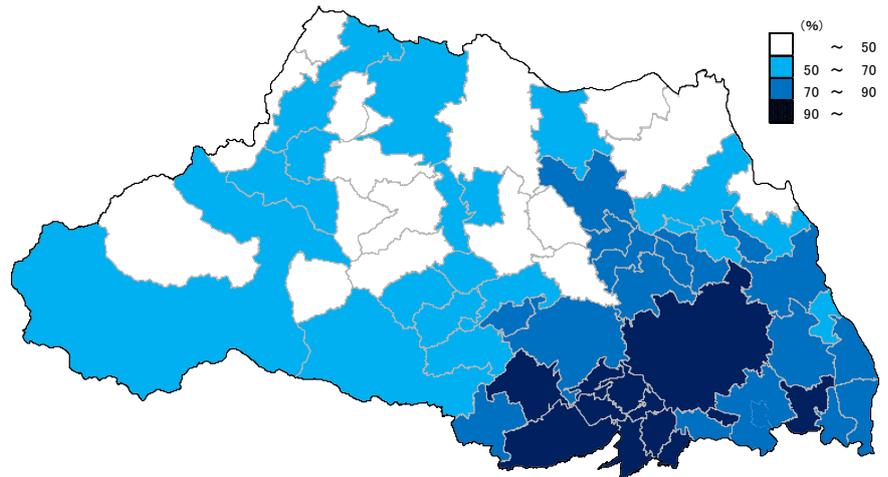
国土交通省によると、平成 26 年度末の公共下水道普及率は、79.2%でした。

県の普及率は、全国平均を上回って推移しており、平成 16 年度からの 10 年間で 7.6 ポイント上昇しました。



資料: 県下水道管理課HP「埼玉の下水道データ集」

公共下水道普及率の分布



●公共下水道普及率とは

人口(住民基本台帳人口)に対する公共下水道を利用できる人口の割合。

平成 26 年度末

資料: 国土交通省HP「平成 26 年度末の下水道整備状況について」、県下水道管理課HP「埼玉の下水道データ集」

注)「-」は下水道事業に未着手の市町村を示す。

47 市町村道舗装率

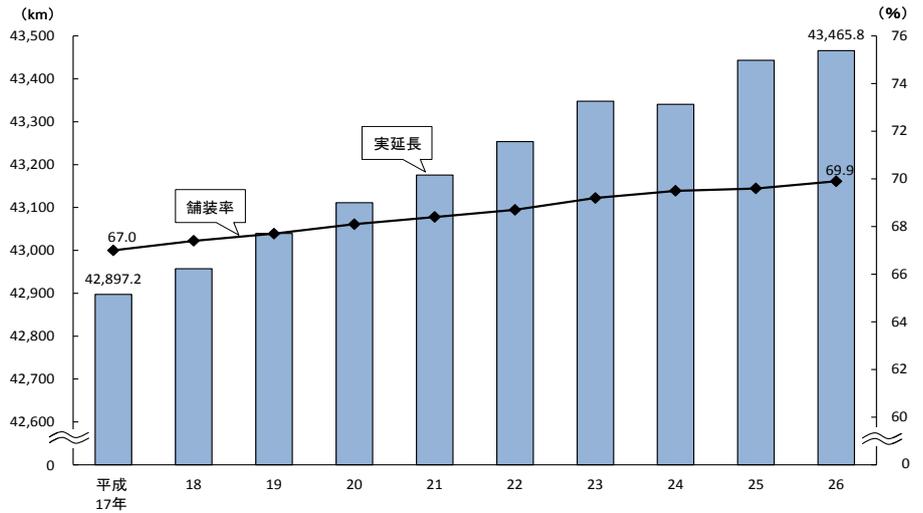
順位	市町村	舗装率(%)
	全 県	69.9
1	戸 田 市	99.0
2	草 加 市	96.0
3	藤 川 市	95.2
4	川 口 市	94.8
5	和 光 市	94.1
6	朝 霞 市	93.6
7	志 木 市	90.6
8	越 谷 市	88.4
9	鶴ヶ島 市	88.1
10	三 郷 市	87.3
11	ふじみ野 市	87.2
12	上 尾 市	86.2
13	八 潮 市	85.9
14	新 座 市	85.6
15	春 日 部 市	84.0
16	さいたま 市	82.7
17	桶 川 市	80.9
17	伊 奈 町	80.9
19	所 沢 市	80.0
20	幸 手 市	79.9
21	富 士 見 市	77.0
22	北 本 市	74.9
23	川 越 市	74.6
24	熊 谷 市	72.9
24	杉 戸 町	72.9
26	久 喜 市	72.5
27	上 里 町	72.2
28	坂 戸 市	71.6
29	深 谷 市	71.2
30	入 間 市	69.9
31	行 田 市	69.7
32	小 鹿 野 町	69.1
33	加 須 市	68.9
34	鴻 巣 市	66.6
35	蓮 田 市	66.4
36	吉 川 市	64.7
36	松 伏 市	64.7
38	狭 山 市	64.4
38	白 岡 市	64.4
40	本 庄 市	64.1
40	宮 代 市	64.1
42	羽 生 市	62.4
43	吉 見 町	61.6
44	吉 横 町	61.1
44	皆 瀬 町	61.1
45	皆 野 町	56.4
46	秩 父 市	55.8
47	日 高 市	55.1
48	東 松 山 市	55.0
49	川 島 町	54.9
50	寄 居 町	52.3
51	三 芳 町	52.0
52	毛 呂 山 町	51.8
53	美 里 町	49.5
54	嵐 山 町	47.5
55	滑 川 町	46.9
56	神 川 町	45.8
57	小 川 町	44.4
58	鳩 山 町	43.4
59	飯 能 市	40.7
60	長 瀨 町	40.6
61	ときがわ 町	36.9
62	越 生 町	33.1
63	東 秩 父 村	30.8

■県内の市町村道舗装率は、69.9%

県道路環境課「道路現況調査」によると、平成 26 年 4 月 1 日現在の市町村道舗装率は、69.9%で、実延長は 43,465.8km でした。

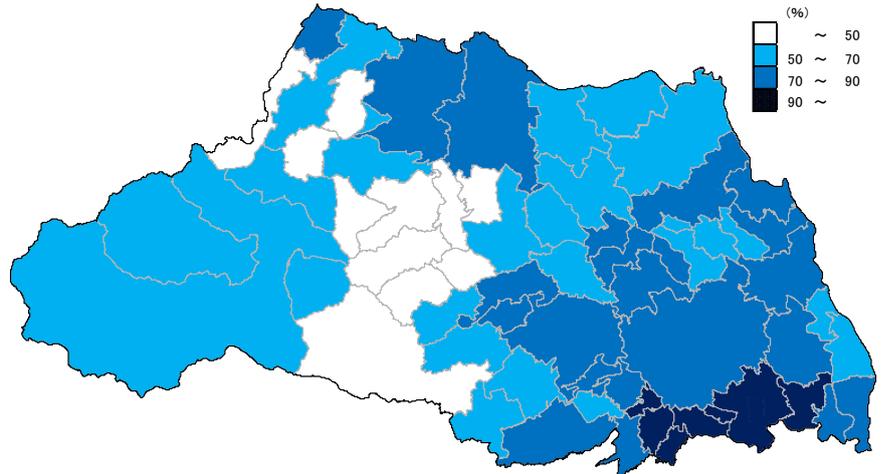
毎年の推移をみると、舗装率は年々上昇しており、平成 17 年から 2.9 ポイントの上昇となっています。

市町村道の舗装率と実延長の推移(県全体)



資料: 県道路環境課「道路現況調査」

市町村道舗装率の分布



●市町村道舗装率とは

市町村道実延長のうち、高級アスファルト舗装、簡易アスファルト舗装及びコンクリート舗装の区間の割合。

※実延長とは、道路法に基づき認定された道路の全延長から、未供用区間及び重用区間(上級路線と重複している区間)を除いた延長。

平成 26 年 4 月 1 日現在
資料: 県道路環境課「道路現況調査」

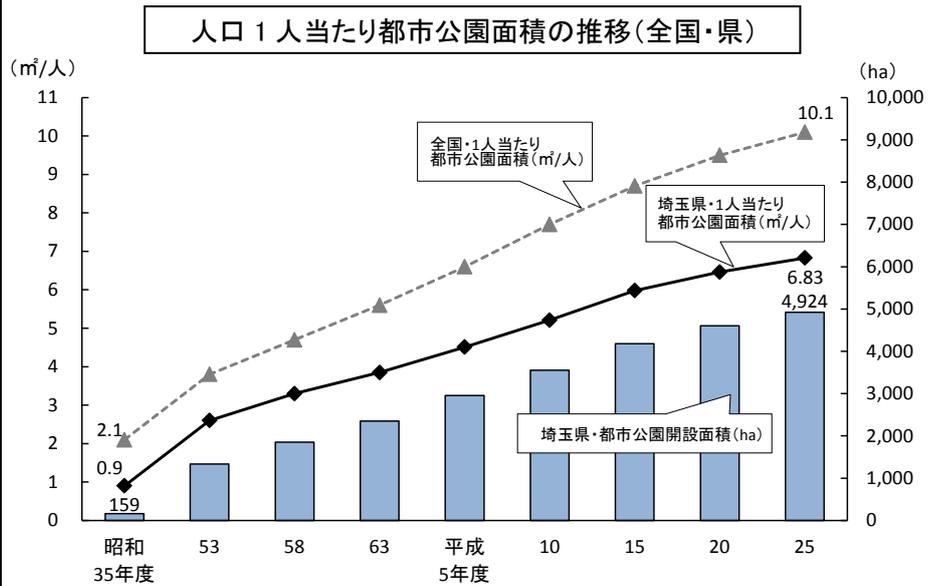
48 人口 1 人当たり都市公園面積

順位	市町村	1人当たり公園面積 (㎡/人)	公園面積 (ha)
	全 県	6.83	4,923.86
1	滑 川 町	169.99	288.98
2	小 鹿 野 町	129.56	116.60
3	吉 見 町	103.67	217.71
4	神 川 町	39.97	51.96
5	秩 父 市	38.01	197.65
6	熊 谷 市	24.28	490.42
7	寄 居 町	24.12	86.82
8	上 里 町	21.37	68.39
9	東 松 山 市	18.00	160.21
10	飯 能 市	17.74	118.85
11	羽 生 市	16.44	92.04
12	行 田 市	12.84	109.11
13	加 須 市	11.79	136.80
14	松 伏 町	10.41	32.28
15	戸 田 市	10.34	134.48
16	北 本 市	9.97	68.79
17	本 庄 市	9.47	74.81
18	越 生 町	8.41	9.25
19	吉 川 市	8.23	55.94
20	幸 手 市	7.90	41.85
21	川 島 町	7.66	16.09
22	久 喜 市	7.32	113.41
23	深 谷 市	6.80	92.49
24	嵐 山 町	6.47	11.65
25	狭 山 市	6.03	93.49
26	日 高 市	5.85	33.95
27	皆 野 町	5.76	4.03
28	鳩 山 町	5.58	8.37
29	宮 代 町	5.26	17.35
30	伊 奈 町	5.18	22.81
31	さいたま市	5.09	639.61
32	鴻 巣 市	5.04	60.01
33	毛 呂 山 町	4.76	17.14
34	川 越 市	4.62	161.33
35	白 岡 市	4.48	22.84
36	志 木 市	4.46	32.58
37	杉 戸 町	4.13	19.02
38	坂 戸 市	4.12	41.56
39	和 光 市	4.08	31.86
40	鶴 ヶ 島 市	4.03	28.20
41	上 尾 市	3.86	87.93
42	所 沢 市	3.85	131.66
43	富 士 見 市	3.54	38.54
44	入 間 市	3.39	50.90
45	蓮 田 市	3.32	20.95
46	川 口 市	3.21	187.65
47	春 日 部 市	3.09	73.51
48	三 郷 市	2.95	40.13
49	小 川 町	2.84	9.37
50	桶 川 市	2.73	20.50
51	越 谷 市	2.59	85.55
52	朝 霞 市	2.32	30.22
53	八 潮 市	2.00	16.63
54	蕨 市	1.92	13.84
55	ふじみ野市	1.87	20.61
56	草 加 市	1.84	45.09
57	ときがわ町	1.61	1.93
58	新 座 市	1.52	24.66
59	横 瀬 町	1.28	1.15
60	三 芳 町	0.61	2.31
61	長 瀨 町	-	-
61	東 秩 父 村	-	-
61	美 里 町	-	-

■埼玉県内の人口 1 人当たり都市公園面積は、6.83 ㎡

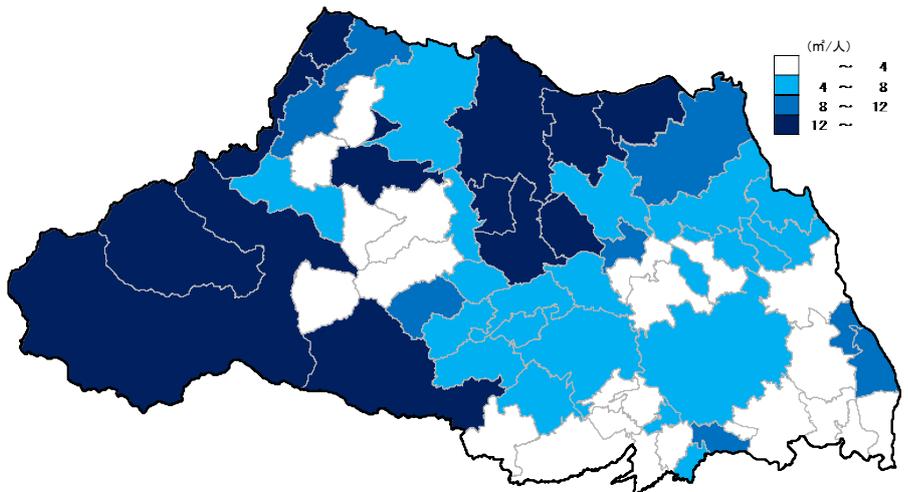
県公園スタジアム課「埼玉県都市公園調査」によると、平成 25 年度末現在の埼玉県内の都市公園開設総面積は 4,923.86ha で、人口 1 人当たりでは 6.83 ㎡でした。

昭和 58 年からの 30 年間で、都市公園開設総面積は 2.7 倍に、人口 1 人当たり面積は 2.1 倍になりました。



資料：県公園スタジアム課 HP「公園整備に関するデータ」

人口 1 人当たり都市公園面積の分布



●都市公園とは
国及び地方公共団体が設置する都市計画施設である公園及び緑地
又は地方公共団体が都市計画区域内に設置する公園や緑地。

平成 26 年 3 月 31 日現在 (平成 25 年度末)
資料：県公園スタジアム課「埼玉県都市公園調査」

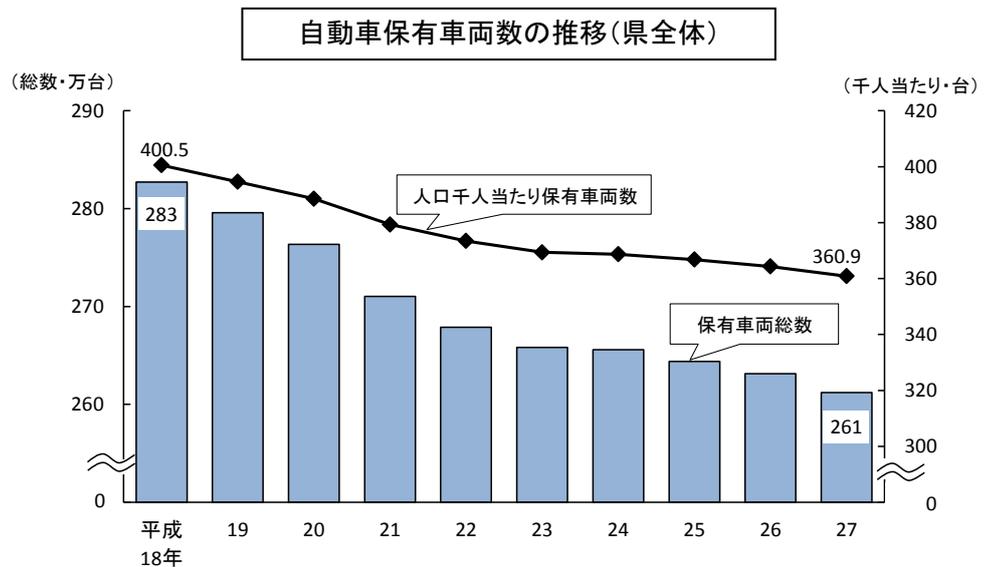
49 人口千人あたり自動車保有車両数

順位	市町村	千人当たり 車両数(台)
	全 県	360.9
1	ときがわ町	591.9
2	美里町	573.5
3	東秩父村	567.8
4	神川町	567.7
5	川島町	518.8
6	皆野町	501.0
7	吉見町	488.5
8	深谷市	484.4
9	長瀨町	484.2
10	寄居町	483.1
11	行田市	481.1
12	本庄市	478.4
13	熊谷市	477.3
14	加須市	460.3
15	鳩山町	455.7
16	三芳町	455.3
17	小鹿野町	451.0
18	上里町	450.6
19	越生町	448.1
20	小川町	447.0
21	横瀬町	445.1
22	滑羽町	441.7
23	滑川町	440.4
24	嵐山町	439.4
25	八潮市	438.8
26	秩父市	434.6
27	東松山市	421.5
28	日高市	417.5
29	松伏町	415.6
30	杉戸町	411.3
31	伊奈町	400.0
32	久喜市	395.9
33	飯能市	393.4
34	幸手市	388.3
35	鴻巣市	381.5
36	桶川市	377.5
37	狭山市	376.6
38	北本市	376.1
39	入間市	374.7
40	三郷市	373.9
41	蓮田市	371.5
42	白岡市	370.6
43	吉川市	362.6
44	鶴ヶ島市	361.8
45	川越市	359.7
46	坂戸市	355.7
47	上尾市	354.6
48	毛呂山町	349.4
49	春日部市	343.8
50	宮代町	339.0
51	戸田市	337.9
52	さいたま市	334.1
53	越谷市	332.9
54	川口市	319.2
55	所沢市	319.2
56	新座市	310.4
57	草加市	307.1
58	朝霞市	293.5
59	志木市	286.3
60	富士見市	284.4
61	ふじみ野市	282.1
62	和光市	269.6
63	蕨市	239.0

■県内の人口千人あたり自動車保有車両数は、減少傾向

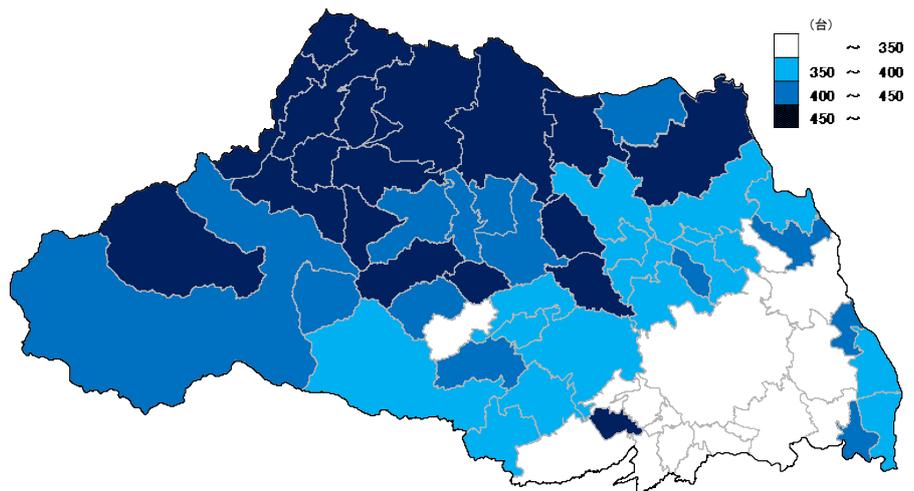
関東運輸局によると、平成27年3月末現在の埼玉県内の人口千人あたり自動車保有車両数(軽自動車を除く。)は、360.9台でした。

毎年の推移をみると、自動車保有車両数は年々減少傾向にあり、平成18年3月末からは車両総数が約22万台の減少となっています。



資料: 関東運輸局 HP「市区町村別自動車保有車両数」、県統計課

人口千人あたり自動車保有車両数の分布



●自動車保有車両数とは

検査対象の自動車数で、自家用と事業用の合計。軽自動車を除く。

※人口千人当たり車両数は、車両数÷埼玉県推計人口×1,000で算出。

平成27年3月末現在

資料: 関東運輸局 HP「市区町村別自動車保有車両数」から県統計課が作成 (注) 県計は登録地不明等を含む。

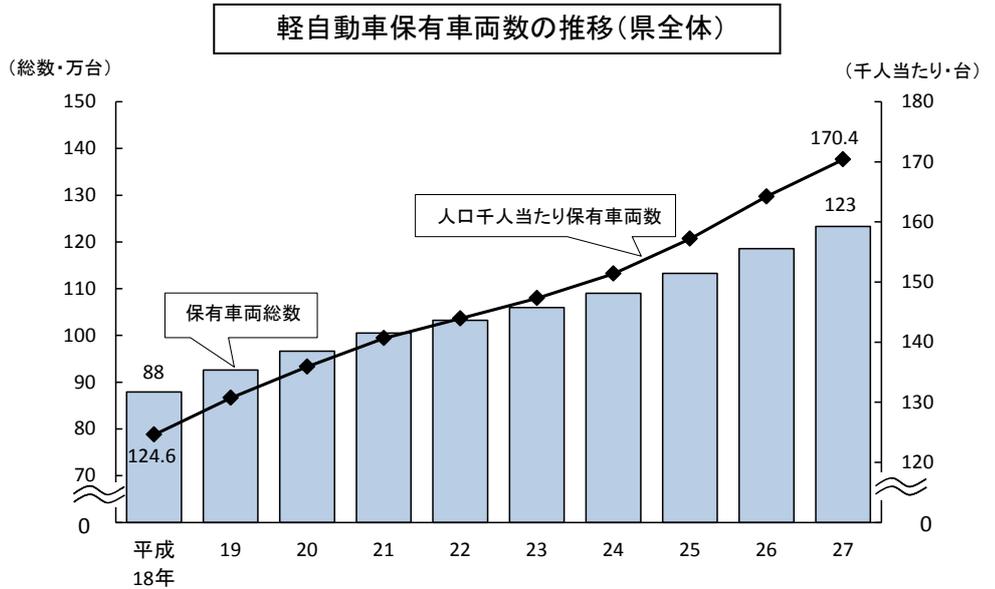
50 人口千人あたり軽自動車保有車両数

順位	市町村	千人当たり 車両数(台)
	全 県	170.4
1	小 鹿 野 町	483.7
2	東 秩 父 村	444.4
3	皆 野 町	433.4
4	美 里 町	413.6
5	ときがわ町	405.8
6	秩 父 市	405.2
7	横 瀬 町	405.0
8	川 島 町	398.4
9	神 川 町	394.4
10	長 瀨 町	384.5
11	吉 見 町	382.8
12	寄 居 町	364.5
13	上 生 町	344.6
14	越 生 町	330.8
15	本 庄 市	324.1
16	深 谷 市	314.4
17	小 川 市	307.0
18	羽 生 市	307.0
19	行 田 市	307.0
20	加 須 市	306.7
21	嵐 山 町	297.3
22	滑 川 町	285.7
23	日 高 市	277.5
24	熊 谷 市	274.7
25	鳩 山 町	270.4
26	東 松 山 市	266.2
27	飯 能 市	259.4
28	松 伏 町	257.7
29	毛 呂 山 町	254.8
30	杉 戸 町	251.5
31	幸 手 市	241.0
32	坂 戸 市	227.3
33	伊 奈 町	218.0
34	久 喜 市	217.2
35	鴻 巣 市	210.2
36	北 本 市	205.3
37	三 芳 町	198.5
38	入 間 市	197.3
39	宮 代 町	194.0
40	鶴 ヶ 島 市	193.3
41	桶 川 市	186.9
42	狭 山 市	186.5
43	白 岡 市	186.2
44	蓮 田 市	186.1
45	吉 川 市	179.3
46	川 越 市	170.9
47	春 日 部 市	169.1
48	八 潮 市	156.7
49	三 郷 市	149.3
50	上 尾 市	147.7
51	所 沢 市	130.9
52	越 谷 市	127.4
53	ふ じ み 野 市	123.3
54	富 士 見 市	121.2
55	新 座 市	114.3
56	さ い た ま 市	111.5
57	川 口 市	105.2
58	草 加 市	104.3
59	志 木 市	104.1
60	朝 霞 市	94.4
61	戸 田 市	84.6
62	和 光 市	68.9
63	蕨 市	63.7

■県内の人口千人あたり軽自動車保有車両数は、増加傾向

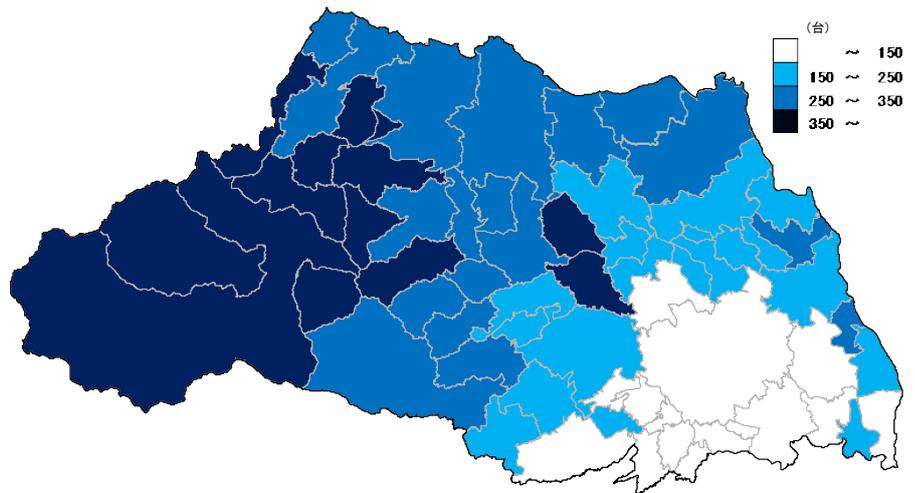
(一社)全国軽自動車協会連合会によると、平成 27 年 3 月末現在の埼玉県内の人口千人あたり軽自動車保有車両数は、170.4 台でした。

毎年の推移をみると、軽自動車保有車両数は年々増加傾向にあり、平成 18 年 3 月末からは車両総数が約 35 万台の増加となっています。



資料:(一社)全国軽自動車協会連合会「市区町村別軽自動車車両数」、県統計課

人口千人あたり軽自動車保有車両数の分布



●軽自動車保有車両数とは

検査対象の軽自動車数で、自家用と事業用の合計。

※人口千人あたり車両数は、車両数÷埼玉県推計人口×1,000 で算出。

平成 27 年 3 月末現在

資料:(一社)全国軽自動車協会連合会「市区町村別軽自動車車両数」から県統計課が作成 注)県計は登録地不明を含む。

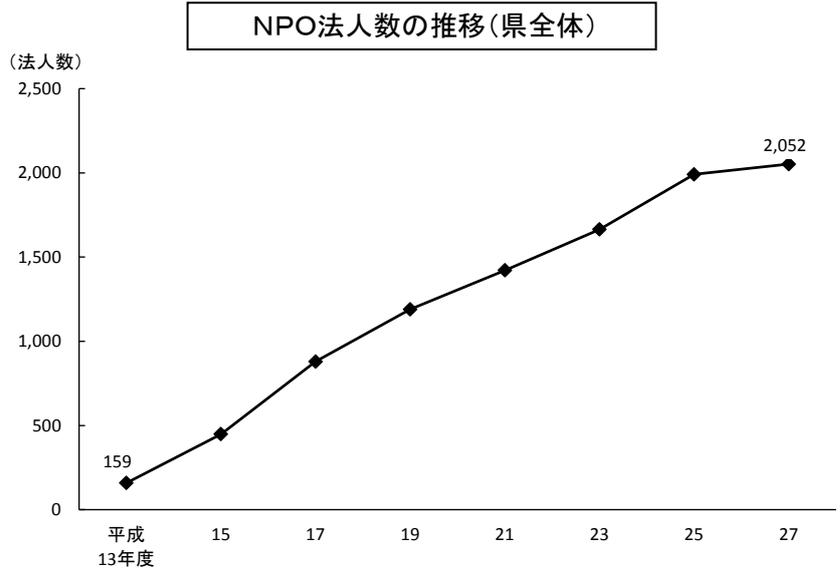
51 NPO法人数

順位	市町村	法人数
	全 県	2,052
1	さいたま市	426
2	川口市	149
3	川越市	93
3	所沢市	93
5	熊谷市	81
6	越谷市	68
7	上尾市	56
8	深谷市	54
9	春日部市	52
10	草加市	50
11	狭山市	48
12	本庄市	41
13	朝霞市	39
14	新座市	38
15	入間市	34
16	行田市	33
16	鴻巣市	33
16	戸田市	33
16	久喜市	33
20	東松山市	32
21	加須市	30
22	飯能市	28
23	秩父市	27
24	富士見市	26
25	鶴ヶ島市	25
26	三郷市	24
26	坂戸市	24
28	日高市	22
29	ふじみ野市	21
30	北本市	20
30	幸手市	20
30	小川町	20
33	和光市	19
34	八潮市	18
35	志木市	17
36	蕨市	16
37	羽生市	15
37	吉川市	15
39	桶川市	14
40	毛呂山町	13
40	寄居町	13
42	白岡市	12
43	蓮田市	11
44	宮代町	10
44	杉戸町	10
46	吉見町	9
47	伊奈町	8
47	三芳町	8
47	鳩山町	8
47	ときがわ町	8
51	嵐山町	7
51	神川町	7
51	松伏町	7
54	小鹿野町	6
55	滑川町	5
55	川島町	5
55	上里町	5
58	美里町	4
59	横瀬町	3
59	皆野町	3
61	越生町	1
61	長瀨町	1
61	東秩父村	1

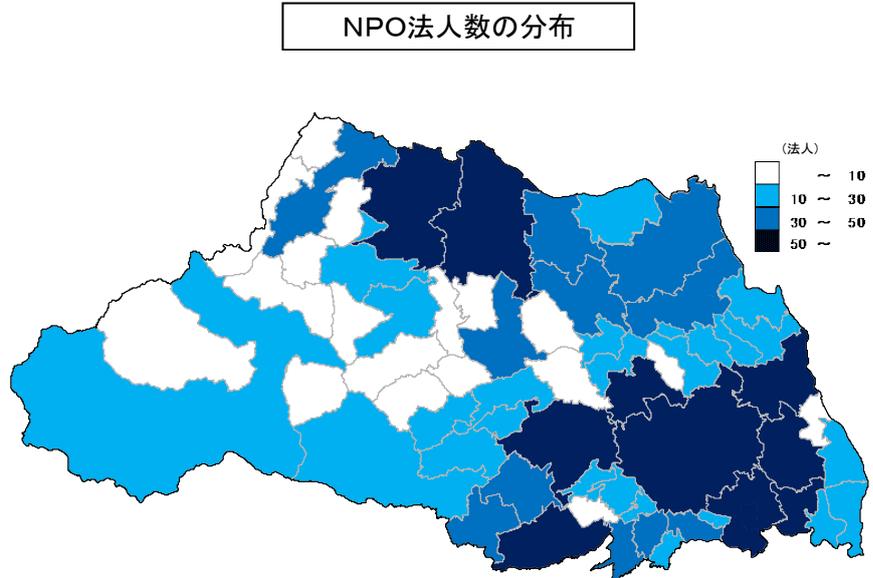
■埼玉県のNPO法人数は、増加傾向

県共助社会づくり課によると、平成 27 年 11 月 30 日現在、県内のNPO法人数は 2,052 法人でした。

平成 13 年度からの推移をみると、法人数は急速に増加しており、平成 13 年度には 159 法人だった法人数が平成 27 年度には 2,052 法人と約 13 倍になっています。



注)平成 13 年度から 25 年度は各年度 3 月 31 日現在、平成 27 年度は 11 月 30 日現在。
資料: 県共助社会づくり課



●NPO法人数とは

特定非営利活動促進法に基づき認証を受けた特定非営利活動法人(NPO法人)数。平成 23 年度までは県が認証した法人数を、平成 24 年度以降は県内所在の法人数を記載。 ※NPO : Nonprofit Organization